

ガルモハル

JAPANESE SCHOOL
OF MUMBAI

TEL 022-6694-0630
13 SEP/2024 NO5

「海外子女文芸作品コンクール」に全校で応募！その2

校長 佐藤 義朗

前回に続き、海外子女教育振興財団主催「第45回 海外子女文芸作品コンクール」の応募作品を紹介します。（小学部5年生以上）

インドと日本の違いは、いろいろありお互いを尊重したり理解したりすることは大切ですが、同じ地球上で生きる人間同士、共通点に注目していくことも大切なことだと思います。子どもたちは今、日本にいてはそれらを感じることができない貴重な場にいると思います。インドで多くのことを経験する中で、それぞれの子どもがもっている純粋で素直な感性や柔軟性、そして行動力が様々な場面で発揮・発信されるよう職員一同取り組んでいきます。

僕を感じるインドと日本の違いについて

中学部1年 K. T

僕は、インドと日本の違いについて調べてみました。なぜ、調べたかというインドに初めてきた時、今まで住んでいた国と違い建物が全く密集せず道も整備されてなくて驚いたからです。1つ目は、インドは発展途上国で日本は先進国という点についてです。例えばインドの道のアスファルトは、舗装されていない所が多くて道がガタガタで凹凸が多いです。信号機は必要な所になって不必要な所にあったりします。白線はあるようでないようなものです。おかげでクラクションが鳴りまくっています。逆に日本はしっかりと道は舗装されており、白線や横断歩道もしっかりしています。身近な道路や道端の状況からもインドと日本の違いを感じます。2つ目は、インドは人口増加中で、日本は減少中（少子高齢化）だということです。これは日本が発展のピークを迎え、どんどん衰退している証拠だと思います。逆にインドでは、宗教的に誰でもなれるIT企業にどんどん人が入っていき、世界規模のIT大国となっています。IT企業に勤めてお金が入るようになり、貧しさがなくなり結婚してどんどん子どもが増え、人口増加に繋がっていると考えます。この点がインドが日本よりも勝っている点だと思います。

次に、インドと日本の共通点についても考えてみました。例えば、インドと日本はそれぞれの月面探査機が、月面着陸を両国とも成功させています。ちなみに月面着陸を成功させた国は5か国のみです。他にも靴を脱いで家に入る人が多いことや両国の言葉の語順が一緒なことなど文化面でも共通点があります。

両国の良いところや悪いところを含め異なる点や共通点を見てきましたが、結論として違いはあるべきもので、同時になくしたほうがよい違いもあると思います。どちらを進めるべきかについては、「世界をよくするため」という考えを大事にするべきです。そのため進めるべきか進めないべきかは、みんなで決めたほうがよいと思います。誰か一人のためでなく、世界中の全ての人のためにする、しないを考えてみんなが生きていったほうがよいと僕は考えます。

（作文の執筆は、小学部6年生の時になります）



インドで活躍する日本人！講演会



ANA 航空教室

「インドで活躍する日本人」講演

会。今年度第二回目は ANA ムンバイ航空事務所から富永洋太様をお招きして「ANA 航空教室」を開催しました。海外で生活する私たちにとっては無くてはならない飛行機。乗客の安全と快適な旅を提供してくれるとっても素敵な会社です。でも、そんな ANA もコロナ禍で世界中が大変だった時期は乗客が一人しかいなかったことも。また、オンライン会議の普及でビジネスマンが利用する機会も以前に比べると変わってきているということでした。しかし、そのような逆境をはね返し、ANA は今、コロナ禍前の状態を超えてきています。



今回は低学年では飛行機がどうやって浮くのかを学び、紙飛行機を遠くまで飛ばすコツを教わりました。自分で作った飛行機が遠くまで飛んで子どもたちは大盛り上がりでした。また、高学年ではお客様のためにどれだけ大勢のスタッフが協力し、関わっているのかということから、会社はチームワークで動いているということをお教えいただきました。また、これから生きる人たちに大切にしてほしい「論理的な思考」「楽しさを見つける力」「挑戦することの大切さ」といった素敵なメッセージをいただきました。



【児童生徒の感想より一部抜粋】

- ・飛行機のタイヤが思ったよりも小さいのに、着陸の時に全部の重みがかかっていると聞いてびっくりしました。これからももっと飛行機に乗りたいです。(小学部 3年)
- ・飛行機一便飛ぶためには何百人もの人が動いているということを知ってすごいと思いました。お客さんのことを考えて行動する ANA の人はとてもかっこいいです。(中学部 1年)

夢を追いかけて進め！

第三回目は、本講演会では初めての女性講師となる

NAGISA MARKETING SOLUTIONS の飯塚渚様をお招きし、開催しました。飯塚様の会社では日本の会社がインドで成功するためのお手伝いをしていらっしゃいます。若くしてインドで起業することはたやすくできることではありません。それがなぜ、実現し、今も前進し続けているのか。その答えのヒントとなるものがこの講演会にはありました。テーマは「夢」。時には挫折を経験されながらも、自分の夢に向かって挑戦し続けていらっしゃる飯塚様のお話からは夢を持つことの素晴らしさが伝わってきました。そして、①今の時点で夢がなくても大丈夫！②夢は変わってもいい！③夢は口に出すことでかなう！というメッセージは子どもたちにとっても、今回参観していた大人たちにとっても大変励みになり、自分を見つめ直す良い機会になりました。

また、飯塚様は講演会終了後も、子どもたちが書いたワークシートに時間をかけて懇切丁寧にコメントを書いてくださいました。周りの人をサポートしていこうとする優しさ、温かさが飯塚様の強みでもあると感じました。



【児童生徒の感想より一部抜粋】

- ・なぎささんがゆめをあきらめなかったことがすごいと思いました。ぼくもいろいろなことに挑戦したいです。コメントありがとうございました。(小学部 1年)